

# 第31回長野県サッカー選手権大会

(一社)長野県サッカー協会  
長野県選手権実施委員長 蒲生 浩明

## 大会要項

1. 大会名 第31回長野県サッカー選手権大会
2. 主催 (一社)長野県サッカー協会
3. 共催 信濃毎日新聞社
4. 後援 長野県教育委員会／(公財)長野県スポーツ協会／(公財)信毎文化事業財団  
長野市サッカー協会
5. 主管 長野県選手権実施委員会
6. 日程 2025年9月21日／10月19日／11月2日／11月16日／2026年3月15日／3月29日  
2026/4月以降のスケジュールは未決定です。
7. 会場 サンプロアルウィン 他
8. 参加資格 2025年度(公財)日本サッカー協会に登録されたチームで、次の資格を有する者とする。越年した場合は2026年度(公財)日本サッカー協会に登録されたチームとする。
  - (1) チーム 2025年度第1種加盟登録を完了し登録料納入済であること。越年した場合は2026年度第1種加盟登録を完了し登録料納入済であること。
  - (2) 選手 本大会の当該チームの登録選手であること。人数は40名以内とする。未登録等不正選手が出場していた場合は「天皇杯開催規程」を準用する。
  - (3) 外国籍選手 外国籍選手は1チーム5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。Jリーグ所属チームについては「天皇杯開催規程」を準用する。
  - (4) (公財)日本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームに所属する選手の移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば複数のチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の2種登録チームから選手を参加させることができる。第1種・シニアの年代の選手は適応対象外とする。
  - (5) 選手証 (公財)日本サッカー協会発行の選手証を必ず代表者会議に提出し、提出なき者は出場できない。
  - (6) ユニフォーム (公財)日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うこと。
  - (7) 本大会に出場した選手はチームを移籍またはクラブ申請制度を利用して、回戦を跨いで異なったチームから出場することはできない。4回戦(2026年)以降はこの限りではない。
9. 試合方法
  - (1) 本大会はトーナメント方式により第1位チームを決定する。
  - (2) 試合時間を4回戦までは70分、準々決勝戦以降は90分とし、勝敗が決しない場合はPK方式により次戦への出場チームを決定する。尚、準決勝戦・決勝戦は、30分間の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。ハーフタイムのインターバルは4回戦までは10分、準々決勝戦以降は15分とする。(前半終了から後半開始まで)
  - (3) J3チームのトーナメント表の組み合わせは第30回長野県サッカー選手権大会の上位チームが決勝戦から出場、下位チームが準決勝戦から出場するものとする。
10. 競技規定
  - (1) 競技規則は(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2025/2026」による。
  - (2) すべての試合の出場選手登録は18名以内とし、選手交代は最大5名まで認められる。各チームは最大3回の交代回数を使う事ができ、これに追加してハーフタイムにも交代を行う事ができる。
  - (3) 延長戦が行われる場合、チームが最大の交代要員数または交代回数を使わなかった場合、使われなかった交代要員数及び交代回数は延長戦で使う事ができる。
  - (4) 延長戦において各チーム更にもう1人の交代要員を使う事でき、追加の交代回数が与えられる。
  - (5) 交代は、後半終了と延長戦との間、また、延長戦のハーフタイムにも行う事ができる。ここでの交代は交代回数を用いたとしてカウントしない。
  - (6) チームベンチに入ることができる役員の数6名以内とする。

(7) 選手の追加、抹消等の登録変更は自チームの大会第1試合の代表者会議時とする。また、本大会中の新年度に関しても、その新年度の第1試合の代表者会議時とする。但し、J3チームは本大会期間中の3月31日を申込書提出の期限とする。

(8) 警告及び退場

① 懲罰規程

(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、(一社)長野県サッカー協会規律・フェアプレー委員会により裁定し懲罰を決定するものとする。尚、懲罰規定第6節第36条【不服申立可の可否】に該当する場合に限り、不服申立を(公財)日本サッカー協会へ申請することができる。(手順等は、懲罰規定 第6節参照)

② 累積警告による出場停止

本大会で累積された警告が2回となった選手及びチーム役員は、自動的に本大会における次戦の試合の出場停止処分を受ける。累積された警告については、以後の他大会に持ち越されず本大会にて失効する。

③ 退場による出場停止

本大会で退場を命じられた選手(同一試合にて2回の警告による退場を命じられた場合も含まれる)及びチーム役員は、次の1試合(最低)に出場することが出来ない。本大会内で次の1試合(最低)の出場停止処分を受ける。(天皇杯全日本サッカー選手権大会は、懲罰規程上の同一競技会とみなす)又、本大会にて出場停止未消化の場合は、直近の公式戦で消化する。それ以降の処置については、(公財)日本サッカー協会の懲罰規定に基づき決定する。

11. 諸 注 意

(1) 試合球は大会本部で用意する。

(2) 試合運営は、(一社)長野県サッカー協会1種委員会が派遣した競技運営委員が行う。

(3) 当日第1試合の2チームは試合時間90分前には集合し会場準備を行う。

また、最終試合の2チームはグラウンド整備、後片づけを行う。

(4) 審判員は各チームの帯同審判員とするが、準々決勝からは(一社)長野県サッカー協会の派遣審判員が行う。(主審は3級以上、副審及び第4番は4級以上の有資格者とするが、自チームの登録審判員以外でも可とする。)

(5) 審判割り当ての各チームは、補助員として4名準備する。

(6) 各試合前に代表者会議を行う。チーム代表者は必ず出席すること。

第1試合……………試合開始40分前

第2試合以降……前試合のハーフタイム時

但し準々決勝以降の代表者会議は別途通知する

代表者会議には、各チームの代表者及び割当帯同審判員が本部に集合し、運営委員が立会いのもと、下記事項の確認を行うものとする。

・当該チームメンバー表、選手証、ユニフォーム正・副2着(GK用含む)、ベンチ着用ビブス

・帯同審判員……審判証(写真貼付)

(7) 参加申込み後の棄権は一切認めない。棄権した場合は「天皇杯開催規程」を準用する。

12. 表 彰

(1) 優勝チームには表彰状、優勝旗、優勝杯を授与する。

(2) 準優勝チームには表彰状、準優勝杯を授与する。

(3) 優勝チームは長野県代表として天皇杯JFA第106回全日本サッカー選手権大会に出場する権利と義務を有する。

13. そ の 他

(1) 本要項の内、大会日程についてはエントリー後確定するため、若干変更の可能性があるので承知願いたい。

(2) 本大会要項に記載されていない事項については、(一社)長野県サッカー協会大会実施委員会にて協議決定する。

(3) 試合中の負傷等の対応はチームが行なうこと。参加するチームは傷害保険等に加入することが望ましい。また、駐車場等での事故及び試合飛球による傷害、破損等の補償は関係チーム等個人の責任とし、大会主催者は原則として行わない。

- (4) 日程は、参加チーム数及び会場確保により変更がありますので参加するチームはその旨ご了承願います。
- (5) 参加チームは煙草の吸殻、飲物の容器、テーピングの屑等をグラウンドに放置せず持ち帰ること。